

東京放射線

2013年11月号

Vol.60 No.711



公益社団法人 東京都診療放射線技師会

<http://www.tart.jp/>

新連載

誌上講座「臨床検査」
研修会等申込書

千葉正志

お知らせ

第6地区研修会
第11地区研修会
第3地区研修会

「TART」ロゴマーク募集

会告

平成25年度第3回静脈注射（針刺しは除く）講習会
第16回メディカルマネジメント研修会
第15地区研修会（第26回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催）
平成25年度診療放射線技師基礎技術講習「消化管」

巻頭言

東京オリンピック・パラリンピック2020

葛西一隆

平成25年度 スローガン

一、チーム医療の推進
二、地球環境と調和した医療技術の向上
三、生涯教育・専門教育の推進

2013年 NOV CONTENTS

目次

診療放射線技師業務標準化宣言	4
巻頭言 東京オリンピック・パラリンピック2020	5
会告1 新春のつどい	6
会告2 第15地区研修会(第26回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催)	7
会告3 平成25年度第3回静脈注射(針刺しは除く)講習会	8
会告4 第16回メディカルマネジメント研修会	9
会告5 平成25年度診療放射線技師基礎技術講習「消化管」	10
会告6 第13地区研修会(第27回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催)	11
お知らせ1 第6地区研修会	12
お知らせ2 第11地区研修会	13
お知らせ3 第3地区研修会	14
お知らせ4 第4地区研修会	15
お知らせ5 「TART」ロゴマーク募集	16
新連載 誌上講座 臨床検査「臨床検査の概要」	17
編集訪問記 ～里から街へ、街から里へ～	20
こえ	
・地球環境保全活動 日暮里駅前清掃活動に参加して	21
NEWSひろい読み	22
パイプライン	
・第53回放射線同友会	25
・平成25年度第1回胃がん検診X線撮影従事者講習会	26
・平成25年度胃X線検査従事者講習会	28
・第9回胃X線画像読影勉強会	30
・超音波スクリーニング研修講演会2013有明	31
平成25年度第5回理事会報告	32
平成25年9月期会員動向	34
研修会等申込書	39

Column & Information

・東放技は積極的に参加します	34
・学術講演会・研修会等の開催予定	35
・イエローケーキ	36
・お詫びと訂正	36
・求人情報	38

診療放射線技師 業務標準化宣言

いま我が国では「安心して安全な医療の提供」が国民から求められている。そして厚生医療の基本である「医療の質の向上」に向けて全ての医療職種が参加し、恒常的に活動をする必要がある。

私達が携わる放射線技術及び医用画像技術を含む診療放射線技師業務全般についても、国民から信頼される普遍的な安全技術を用いて、公開しなくてはならない。そして近年、グローバルスタンダードの潮流として、EBM (Evidence Based Medicine)、インフォームドコンセント、リスクマネジメント、医療文化の醸成、地球環境保全なども重要な社会的要求事項となっている。

公益社団法人東京都診療放射線技師会では、『国民から信頼され選ばれる医療』の一員を目指し、診療放射線技師の役割を明確にするとともに、各種業務の標準化システム構築を宣言する。

診療放射線技師業務標準化には以下の項目が含まれるものとする。

1. ペイシェントケア
2. 技術、知識の利用
3. 被ばく管理（最適化／低減）
4. 品質管理
5. 機器管理（始終業点検／保守／メンテナンス）
6. 個人情報管理（守秘／保護／保管）
7. 教育（日常教育／訓練／生涯教育）
8. リスクマネジメント
 - ～患者識別
 - ～事故防止
 - ～感染防止
 - ～災害時対応
9. 環境マネジメント（地球環境保全）
10. 評価システムの構築

公益社団法人東京都診療放射線技師会

巻頭言



東京オリンピック・パラリンピック2020

副会長 葛西一隆

平成25年9月8日、2020年夏季五輪が“東京”に決定しました。

日本での五輪開催は、1964年の第18回東京大会（夏季）、1972年札幌大会（冬季）、1998年長野大会（冬季）に続き、今回で4度目となります。約50年前の東京大会の時、私は中学2年生でブラスバンド部の東北大会出場に向けて猛練習しており、練習の合間に故郷青森から気持ちをこめて、はるか東京に向けてファンファーレや行進曲を吹いていた記憶があります。

今、あの頃にはなかった国内の懸念は「天変地異・異常気象」ではないでしょうか。今夏は局地的な集中豪雨をはじめ、落雷や竜巻が頻発する一方、史上最高気温が高知県四万十市で41℃に塗り替えられる猛暑にもなり、各地で渇水の危機に見舞われました。この亜熱帯に近い気候状況に好転の気配はなく、2020年の東京大会が開催される真夏においては、熱中症対策はもとより電力需給の観点からも、この大イベントを成功させるには想像を超える多方面からの大プロジェクトが必要になるかと思います。すでにさまざまな人々による企画・立案の模索が始まっていると思います。また、かつての東京オリンピックを契機とし、首都高速・新幹線などのインフラが構築されました。しかし、トンネルの落盤、橋脚の劣化、そして今現在最大の課題である“Under Control”という言葉で国際公約となった福島第一原発への対応など、時を経て「形あるものはいつか壊れる」のです。技術の過信は禁物でしょう。まだ7年後ではありますが、福島第一原発からの放射性物質拡散への対策、作業員の被ばく線量は大丈夫なのか。そしてオリンピック会場となる東京湾岸地域の地震や津波への対策など、心配の種は尽きません。優勝を目指す選手育成の以前に、大会を“安全”に“確実に”開催し、選手はもとよりスタッフを含めて“五輪に参加する”ことが大事なのです。

一方、財務省は国債・借入金や政府短期証券をあわせた「国の借金」の残高が、2013年6月末時点で1000兆円を突破したと発表しました。前年同月末に比べて32兆円も増え、7月1日時点の総務省の人口推計（1億2735万人）をもとに単純計算すると、国民1人あたり約792万円の借金を抱えていることになります。そして、このオリンピックのもたらす経済効果は4.2兆円におよび、国内総生産を0.5%程度押し上げると予想されています。東日本大震災からの復興と絡み、オリンピック開催に賛否はあるようですが、決定したことは事実です。この際、この経済効果を含めた五輪開催を起点とし、日本人全員参加で新しい日本への変革を進めていきたいものです。

さて、7年後ではありますが“東京”が世界から注目される五輪会場であることをあらためて思うと、私としても少しでもお手伝いができることがあれば、何事にも努力を惜まず協力していきたいと考えています。まさに“参加すること”に意義があるのです。

会 告 1

“新春のつどい”のご案内

年初めの恒例となっております、本会主催による「新春のつどい」開催のご案内を申し上げます。

新春を迎えるにあたり、日頃ご交誼をいただいております放射線関連・学校教育機構・関係諸団体・本技師会各位が一堂に会し、新年の抱負を語り、また、情報交換の場としてご歓談いただき、親交を深めていただきたいと存じます。お誘い合わせのうえ、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

開催日時：平成26年1月15日（水）

受付 18時00分～

開宴 18時30分～20時00分

開催場所：「ホテルラングウッド」飛翔の間

荒川区東日暮里5-50-5 Tel 03-3803-1234

JR日暮里駅南口下車 徒歩1分

次 第

- 1) 開会のことば
- 2) 会長挨拶
- 3) 来賓挨拶
- 4) 乾杯
- 5) 懇親（名刺交換）
- 6) 閉会の言葉



会 費：6,000円

新卒かつ新入会員の方は無料です。奮ってご参加ください。

申込方法：本会事務所へFAXにてお申し込みください。

（会誌綴込みのFAX用紙をご利用ください）

問い合わせ：公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

第15地区研修会 第26回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催 テーマ「腹部単純撮影」 ～一般撮影・CT画像を中心に急性腹症の一次読影について～

講 師：東京都済生会中央病院 江田 哲男 氏

腹部単純撮影は検査（撮影）の位置づけとしてファーストチョイスで行われると言っても過言ではなく、医療現場では高い撮影技術と読影能力が要求されます。

今回は第15地区研修会と第26回日暮里塾ワンコインセミナーの合同開催で、腹部単純撮影について画像を用いて臨床現場に沿った講義をしていただく予定です。

多くの方の参加をお待ちしております。

記

日 時：平成25年11月6日（水）19時00分～20時30分

場 所：帝京大学医学部附属溝口病院 二子管理棟 7 階講義室

住 所：神奈川県川崎市高津区二子5丁目1-3

ア ク セ ス：東急田園都市線高津駅 徒歩1分

東急田園都市線溝ノ口駅 徒歩10分・JR南武線武蔵溝ノ口駅 徒歩10分

受 講 料：診療放射線技師500円、一般および新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の研修会申し込み、または会誌巻末の研修会申込用紙にて事務所にFAXで申し込んで下さい。

カウント付与：日本診療放射線技師会生涯教育1.5カウント付与

問い合わせ：第15地区委員長 原子 満 E-Mail：area15@tart.jp

学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



平成25年度第3回静脈注射（針刺しは除く）講習会

主催：（公社）日本診療放射線技師会

実施：（公社）東京都診療放射線技師会

厚生労働省「チーム医療推進方策検討ワーキンググループ」において、診療放射線技師の業務範囲の見直しに関する検討が行われ、「CT、MRI検査等において造影剤投与終了後の静脈路の抜針および止血をおこなうこと」が取り上げられ、十分な教育・研修を行うことを条件に実施できる方向で検討されています。これに伴い、平成24年度より静脈注射（針刺しは除く）に関する講習会を公益社団法人日本診療放射線技師会主催、公益社団法人東京都診療放射線技師会実施で開催しております。今年度3回目の講習会を開催いたします。

記

日 時：平成25年11月10日（日）9時55分～（受付開始9時30分～）

場 所：東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：会員2,000円 非会員8,000円

申 込 方 法：JART情報システム内のイベント申し込みメニューからお申し込みください。

注）東放技事務局へのFAXおよび東放技HPからの申し込みはできません。

受講料振込等：申し込み後、日放技より振込み先の案内があります。

講習会修了基準：次のいずれかに該当する場合は、修了とみなしません。

ア）講習時間（5時間）に対し、欠課の合計時間が45分を超えた場合

イ）欠課が15分を越えたコマが1つでもあった場合

生涯学習カウント：修了者は「学術研修活動」カウントが付与されます（Basicカード以上の保持者のみ）

締 め 切 り：平成25年10月27日（定員になり次第締め切り）

以上

プログラム

限	時 間	科 目	講 師
	9:30～	受付	
	9:55～ 10:00	開会のあいさつ、注意事項の説明	
1	10:00～10:45	静脈注射に関する診療放射線技師の法的責任 （絶対的医行為、相対的医行為）	診療放射線技師
2	10:45～11:30	薬剤（造影剤）に関する知識 （造影剤の基礎知識）	薬剤師
3	11:30～12:30	静脈注射と感染管理 （静脈注射の清潔操作、血管留置カテ（BSI）感染防止、 針刺し事故対策）	認定看護師
	12:30～13:30	休憩	
4	13:30～14:30	合併症への対応 （アナフィラキシーショック、静脈炎、血管外漏出、 RSD、抜針時の注意）	医師
	14:30～14:45	休憩・会場設営	
5	14:45～16:15	抜針の実習・確認試験 （シミュレーターを用いた演習（実技）、確認試験）	看護師 診療放射線技師
	16:15～16:30	修了証授与・閉会のあいさつ	

第16回メディカルマネジメント研修会 テーマ「次回診療報酬改定に向けての新たな論点」

講師：一般社団法人 日本画像医療システム工業会（JIRA）
経済部会 部会長 野口 雄司 氏

診療報酬改定に向けて、診療放射線技師の業務の質的評価について幅広い議論が行われている。特に前回改定から大きく3つの保証に関わる視点で取りまとめており、この論点は制度の骨子に関わる内容でもあり次回以降も継続的に議論されるものである。

その概略は、

- ①「安全保証」／保守維持管理コストの明確化・明文化によるコスト吸収構造の根拠を示し、「医療機器安全管理料」の拡大と同時に「施設基準」適用拡大の必要性の拡張提言。
- ②「精度保証」／画像診断分野における高度化する「検像」に関わる画像の精度向上や管理運用の効率化を意図した「画像精度管理料」という新たな考え方の必要性の拡張提言。
- ③「運用保証」／コンピュータ断層撮影料における単なる機器の性能別評価ではなく、難易度を含めた、撮影技術を評価する、「基礎点数＋部位別疾病別加算点数」の導入と適正配置の拡張提言。

また、「安全・精度・運用」の総合的視点から、新たに線量管理の評価体系に関する議論も行われている。

記

日 時：平成25年11月14日（木）19時00分～20時30分

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：会員1,000円、非会員5,000円（当日徴収）※新入会員は無料ではありません。

申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の研修会申し込み、または会誌巻末の研修会等申込用紙にて、事務所にFAXで申し込んでください。

カウント付与：日本診療放射線技師会生涯教育1.5カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujiu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

平成25年度診療放射線技師基礎技術講習 「消化管撮影」開催のお知らせ

主催：公益社団法人日本診療放射線技師会 実施：公益社団法人東京都診療放射線技師会

このたび平成25年度診療放射線技師基礎技術講習「消化管撮影」を開催いたします。

この基礎技術講習では公益社団法人日本診療放射線技師会が定めた学習目標に沿った講義を行います。診療放射線技師として、そして医療の担い手として必要な基礎知識と技術を身につけ、医療及び保健、福祉の向上に努めることを目的としております。

今回の開催は全国的に一定レベルのセミナーを普及・拡大させ、全ての診療放射線技師が受講できる環境を整えるように計画されたものであります。また学習目標の理解度の判定として全講義終了時に臨床技能検定を実施します。多くの方の参加をお待ちしております。

記

日 時：平成25年12月1日(日) 8時55分～(受付開始8時30分～)

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：会員3,000円、非会員6,000円(ただし検定試験料1,000円を含む)

申 込 方 法：JART情報システム内のイベント申し込みメニューからお申し込みください

JART情報システムを利用しない場合は、日放技会誌綴込みのFAX用紙に必要事項を記載のうえ送信ください 注) 東放技事務局および東放技のHPからの申込はできません

受講料振込等：お申し込み後、日放技より振込み先等の案内があります

講習会修了基準：次のいずれかに該当する場合は、修了とみなしません

ア) 講習時間(6時間)に対し、欠課の合計時間が60分を超えた場合

イ) 欠課が15分を越えたコマが1つでもあった場合

生涯学習カウント：修了者は「学術研修活動」カウントが付与されます(Basicカード以上の保持者のみ)

締 め 切 り：平成25年11月22日(金)

以上

プログラム

限	時間	科目	講師名(所属)
	8:55～	開講式・オリエンテーション	
1	9:00～9:45	撮影技術-1 造影剤・鎮痙剤・下剤	北川 まゆみ(国立がん研究センター中央病院)
2	9:45～10:30	撮影技術-2 上部消化管	金子 英利(東京都保健医療公社東京都がん検診センター)
3	10:40～11:25	撮影技術-3 下部消化管	安藤 健一(東京勤労者医療会 東葛病院)
4	11:25～12:10	読影・レポーティング	田中 靖(社会保険中央総合病院)
5	13:00～13:45	画質・性能評価	埋橋 喜次(練馬区医師会医療健診センター)
6	13:45～14:30	X線透視撮影装置の基礎知識	野中 孝志(公立福生病院)
7	14:40～15:25	被ばく管理	圓城寺 純男(東京都保健医療公社多摩南部地域病院)
8	15:25～16:10	受診者管理(救急含む)	市川 重司(公立福生病院)
9	16:20～16:50	臨床技術能力検定	
	16:50～	閉講式	

第13地区研修会

第27回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催

テーマ「頭部単純撮影」

講 師：春日部市立病院 工藤 年男 氏

近年、頭部単純撮影はCTやMRIなどさまざまなモダリティによる画像診断が主流となり、外傷時以外では少なくなっています。しかし、頭部撮影は画像診断の基本となる大切な検査です。

今回は頭部単純撮影にスポットを当て、臨床撮影の基本から現場に沿った撮影技術、読影のポイントについて講義をしていただく予定です。

多くの皆さまの参加をお待ちしております。

記

日 時：平成25年12月12日(木) 19時00分～20時30分

場 所：国分寺労政会館 第3会議室

アクセス：JR中央線国分寺駅下車 南口より徒歩5分

受 講 料：診療放射線技師500円、一般・新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

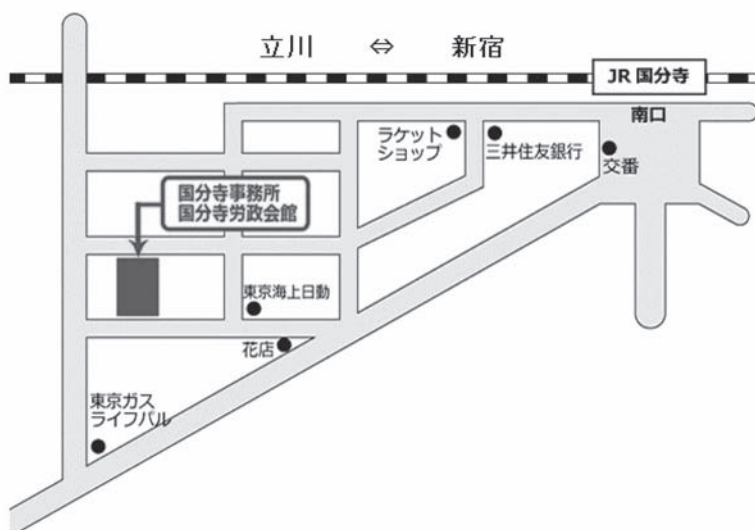
カウント付与：日本診療放射線技師会生涯教育1.5カウント付与

問い合わせ：第13地区担当 川崎政士 Mail：area13@tart.jp

学術教育委員長 市川重司 Mail : gakujiitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



お知らせ 1

第6地区研修会

テーマ：東京都における災害廃棄物の受け入れについて

講 師：東京都環境局廃棄物対策部一般廃棄物対策課長 今井 正美 氏

2011年3月11日の東日本大震災による、東京電力福島第一原子力発電所で放射性物質流失を伴う原子力事故が発生しました。それに伴い、私たちの同職種または同分野の先生方が、メディアや各地域・施設にて情報提供や国民の不安解消に活躍されました。また災害現場や避難所でサーベイ・ボランティアなどを行ったことは記憶に新しいところでもあります。

さて、東北地方の復興が進むなか、震災における^{がれき}瓦礫はどのようになったのでしょうか？
東京都も瓦礫の引き受け・処理を行っていますが、実際にはどんな瓦礫を、どのように対応・処理されたのか詳しく理解をしておりません。

このたび、東京都環境局の今井氏をお招きして、分かりやすく解説していただきます。

復興支援を都民としてどう考え、診療放射線技師として何をしなければならないのか、皆さまと一緒に考えたいと思います。ぜひ、一般の方や医療スタッフの皆さまをお誘いの上、ご参加ください。

記

日 時：平成25年11月8日（金）19時00分～20時15分（受付開始：18時30分～）

場 所：公益社団法人 東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：診療放射線技師500円、一般・新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

情報交換会：近隣にて（当日ご案内いたします）

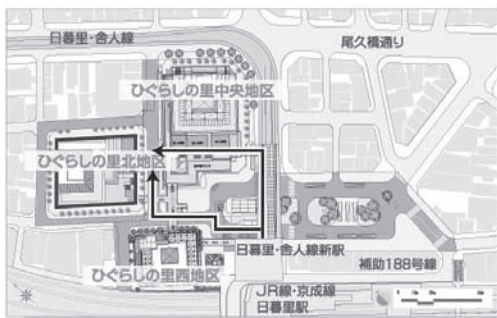
申 込 方 法：下記の方法からお申込みください。

①東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の研修会・イベント参加申し込みフォームから登録して下さい。

②会誌巻末の研修会等申込用紙にて事務所にFAXで申し込んでください。

問い合わせ：第6地区委員長 岡部博之 E-Mail：area06@tart.jp 新葛飾病院：03-3697-8331

以上



第11地区研修会 テーマ「上肢の一般撮影」

近年CTやMRIなどさまざまなモダリティによる画像診断が行われていますが、一般撮影はいまだに画像診断の基本となる大切な検査です。今回の研修会では上肢撮影にスポットを当て、撮影の基本から痛みや骨折などによりポジショニングが難しい場合の対処法などを講演していただく予定です。多くの皆さまの参加をお待ちしております。

なお、講演に先立ち株式会社島津製作所にトモシンセシスを含む、最新の一般撮影システムの紹介をしていただく予定です。こちらもぜひご参加ください。

—プログラム—

- 18:30 「最新一般撮影システムおよびXTVトモシンセシスの紹介」
株式会社島津製作所 グローバルマーケティング部 武尾和宏 氏
- 19:00 「上肢撮影のここがポイント ～上肢一般撮影の基本と臨床応用～」
春日部市立病院 放射線科長 工藤年男 氏

記

日 時：平成25年11月29日（金）18時30分～20時30分（受付開始18時10分～）

会 場：東邦大学医療センター大橋病院 教育棟1階臨床講堂

交 通：東急田園都市線 池尻大橋駅下車 徒歩6分

：京王井の頭線 駒場東大前駅下車 徒歩10分

※ 詳細は東邦大学医療センター大橋病院HPをご覧ください

受 講 料：診療放射線技師 500円

一般・新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

申込方法：area11@tart.jpのアドレスへ氏名・地区・勤務先をお知らせください。もしくは東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の研修会申し込み、または会誌の研修会等申込用紙にて、事務所にFAXでお申し込みください。※当日参加も歓迎いたします。

問い合わせ及び連絡先：

第11地区委員長 千葉利昭 E-Mail：area11@tart.jp

東邦大学医療センター大橋病院 放射線部

TEL 03 (3468) 1251 内線3235



以上

お知らせ 3

第3地区研修会

テーマ「胸部CTティーチングファイルーここがポイントー」 肺結核と肉芽腫性肺疾患

講 師：東京医科大学病院 朴 辰浩 氏

昨年に引き続き胸部CT画像を取り上げたいと思います。内容は肺結核と肉芽腫性肺疾患です。

古くて新しい肺結核と、真菌やサルコイドーシスなどの肉芽腫形成を伴う肺疾患を、胸部単純写真を振り返りながら分かりやすく教えていただきたいと思います。

クリニック、検診施設の方など多くの方々の参加をお待ちしています。

記

日 時：平成25年12月3日(火) 19時00分～20時30分(受付開始18時30分)

場 所：東京医科大学病院 研究教育棟3階第1講堂

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-7-1

ア ク セ ス：丸の内線西新宿駅下車 徒歩1分、JR新宿駅下車 西口より徒歩11分

受 講 料：診療放射線技師 500円、一般・新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

申 込 方 法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) からの研修会申し込み、または下記メールアドレスへ
氏名・地区・勤務先を記載の上、件名「第3地区研修会」でお申し込みください。

情報交換会：会費4000円 予約の都合上、参加希望者はメールにてご連絡ください。

問い合わせ：第3地区委員長 平瀬繁男

E-Mail：area03@tart.jp

東京医科大学病院 放射線部

TEL：03-3342-6111 (PHS63317) ※16時以降

以上



第4地区研修会

テーマ「いまさら聞けないMRIの安全管理」

講師：東京都済生会中央病院 放射線技術科 江田 哲男 氏

昨今のMRI撮影は全国的にも増加傾向にあり、当直業務などの非日勤対応者や新人技師、ローテーターが撮影を行う機会が増えてきております。そこで、日々の検査をより安全に行っていくために、これから撮影を始める新人技師の教育を基本に、条件付きMRI対応ペースメーカーなどの新たなデバイスの導入についても講義していただきます。

本研修会を通して安全な検査への確立を図り、われわれの今後の活動や、より専門性の高い情報提供に役立てたいと考えております。

会員、非会員に関わらず多数のご参加をお待ちしております。

記

日 時：平成25年12月13日(金) 19時00分～(受付開始18時30分)

場 所：東京都済生会中央病院 新棟7階第1会議室

受 講 料：診療放射線技師 500円

一般・新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

申込方法：氏名・地区名・勤務先を記載の上、メールアドレスarea04@tart.jpへお申し込みください。

もしくは東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の研修会等申し込みフォームより、主催“第4地区”を選択してお申し込みいただくか、会誌の研修会等申込用紙で、事務所にFAXでお申し込みください。

問い合わせ：第4地区委員長 高橋潤一郎 E-Mail：area04@tart.jp

虎の門病院 放射線部 TEL 03-3588-1111 (内3832)

以上



お知らせ 5

「TART」ロゴマーク募集

東京都診療放射線技師会では、本会および本会の活動をより効果的にPRするための一環として、東京都診療放射線技師会“Tokyo Association of Radiological Technologists”の略称「TART」のロゴマークを作成することになりました。

そこで、皆さまから広くデザインを募集いたします。採用された方には、薄謝を進呈いたします。

募集期間：平成25年10月1日(火)～11月30日(土)

募集内容：TARTの文字を加工したロゴマーク。カラー・モノクロどちらでもかまいません。未発表のものに限ります。

応募資格：特に問いません

応募方法：郵送またはFAXの場合

A4用紙に、ロゴマークのデザイン、住所、氏名（ふりがな）、電話番号を記入し、下記宛にご送付ください。

E-Mailの場合

件名は「TARTロゴマーク公募について」としてください。

本文中に住所、氏名（ふりがな）、電話番号を記載し、作成したデザインはJPEGまたはGIFにて添付し、下記アドレスまで送信してください。

選考：本会運営委員会で選考し、結果は本人に通知、および会誌「東京放射線」・ホームページにて発表します。

注意事項：・採用されたロゴマークの著作権その他一切の権利については、本会に帰属するものとします。

・応募いただいた作品は、返却いたしません。

・デザインについては、色彩などを一部修正して使用する場合があります。

その他ご不明な点がございましたら、下記までメールにてお問い合わせください。

お問い合わせ・応募先

公益社団法人東京都診療放射線技師会

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

TEL・FAX 03-3806-7724

E-Mail tart@tart.jp 担当：安宅

誌上講座 臨床検査

臨床検査の概要

東京都保険医療公社 豊島病院 千葉正志

I 日本における臨床検査の変遷

臨床検査を語る場合、歴史を紐解くことは非常に難しい。ここで歴史的な内容を書くに当たっては国内で臨床検査が明確になった時期からとする。

聴診器が発明されたといわれている1819年から約100年後の1916年にアメリカの大学付属病院ではじめて中央検査室が創設されている。日本にその概念が導入されたのは1950年代であり、簡易法、定性検査による診断補助の用手的検査が中央検査室で開始された。

その後、1955年に日本最初の検査技師養成校が誕生し、1957年には衛生検査技師法が公布されている。1960年代には日本医師会より血液生化学診断法、臨床検査指針が示され、この時期に生化学的自動分析装置が輸入されている。1970年代には臨床検査技師・衛生検査技師等に関する法律が公布され、超音波検査の導入や多くの試薬キットの開発、精度管理手法の導入など華々しく進歩している。臨床検査が多様化し拡大した1980年代には検査の包括化による抑制が行われたが、多項目同時分析装置の普及、IT化、微量化・迅速化が進展した時期でもある。

1986年には検査技師養成校の臨床実習が義務化され、1990年代には標準化の推進、検体検査管理加算の導入などがされている。また、1991年には生理検査の業務拡大が実現し、2000年代には遺伝学的検査、DPC、EBMの概念が導入されるなどさまざまな波を乗り越えて今日を迎え、約60年の歴史としては重厚なものである。

II 臨床検査の必要性と区分

臨床検査は複雑な生体機能を知るために自然科学で用いられているあらゆる種類の技術が取り入れられており、検体系検査では生物学的実験法のすべての知識と技術を利用しているといっても過言ではない。一方、生体検査として患者自身を扱う生理検査が分類されており、これら全体の臨床検査は次の点に関して対応している。

①確定診断、②重症度判定と予後の推定、③鑑別診

断、④病態経過の観察と治療効果の判断材料、⑤頻度の高い合併症のチェック、⑥疾病のリスク調査、⑦正常の確認、⑧研究的病態解析、⑨疫学調査などである。

さらに臨床検査は一般的に次の検査部門に区分されている。

1) 一般検査

尿の基本的性状検査や尿中に排泄されるタンパク、糖などの定性検査、便に排泄される寄生虫や虫卵検索、穿刺液の性状等の検査

2) 生化学的検査

血清や尿などを検査材料とし、窒素成分、酵素、蛋白、糖、電解質の異常を検出して疾患を予測する情報を提供する検査

3) 免疫血清学的検査

免疫学的測定系を用いる検査であり、免疫グロブリン、HBV、HBC、HIVなどの感染症マーカー、血中薬物濃度、ホルモン、腫瘍マーカーなどの検査

4) 血液学検査

赤血球数、白血球数、血小板数などの計数、ヘモグロビン濃度測定、血液像検査を用いた貧血検査や各種血液疾患の検索。血液凝固異常を検索する凝固因子検査

5) 微生物学検査

尿、便、咽頭うがい液、膿などから病気の原因となった細菌やウイルスなどを検出する検査、検出菌の薬剤感受性試験などの検査

6) 病理学検査

罹患部位の切除標本について形態学的観察を行い、その所見から病気の診断資料とする検査、細胞診検査

7) 輸血検査

血液型検査や不規則抗体の検出を行い、安全で適正な輸血療法を推進する検査

8) 生理学的検査

直接的に患者に対する検査であり心電図検査、脳波検査、基礎代謝検査、呼吸機能検査、筋電図検査、超音波検査、聴力検査、サーモグラフィーなど

Ⅲ 臨床検査の目的別分類

臨床検査は必要性に応じて、つぎのように名称が分けられる。

1. スクリーニング検査

症状の把握や潜在する疾患を発見するために行う検査であり、検査時点の生体の機能および変動を反映する結果が得られる。いつでも、どこでも、どのような患者に対しても容易に実施できる最小限度の検査が求められており、次のような検査項目が掲げられている。

—（いつでもどこでも必要な検査）—

- ①尿検査：蛋白、糖、潜血
- ②血液検査：赤血球数、白血球数、ヘモグロビン、ヘマトクリット、赤血球恒数（指数）

- ③免疫血清検査：CRP

- ④血液化学検査：総蛋白、アルブミン

—（入院時あるいは外来初診時に必要とする場合の検査）—

- ①尿検査：色調、混濁、pH、比重、蛋白、糖、潜血、尿沈査
- ②血液検査：赤血球数、白血球数、ヘモグロビン、ヘマトクリット、赤血球恒数（指数）、血小板数、血液像
- ③化学検査：総蛋白、蛋白分画、血糖、総コレステロール、TG、AST、ALT、LD、ALP、 γ GT、ChE、UN、クレアチニン、尿酸
- ④糞便検査：潜血反応
- ⑤免疫血清検査：CRP、HBs-Ag、HBs-Ab、HCV-Ab、梅毒抗体
- ⑥胸部X線撮影
- ⑦腹部超音波検査
- ⑧心電図検査

日本臨床病理学会「基本的検査」改定案より抜粋

2. 診療前検査

慢性疾患の経過観察には診察前に検査すると効率的であることから、受付後に直ちに採血する。特に糖尿病患者などは血糖値が判り次第に診察が受けられるため、インスリン治療などが効果的である。待ち時間が短縮される利点もあり、多用されている。最近では腫瘍マーカーや甲状腺機能検査も診察前検査の対象となってきた。また、初診でも診察前検査を実施する傾向にある。

3. 緊急検査

患者の診断、治療方針を速やかに決定するために実施する検査である。そのためには病態変化を直ちに把握できる感度があり、検査結果は速やかに報告される。救急患者、手術中、集中治療室入院患者、入院時急変患者などが対象となる。通常は24時間体制で実施さ

れる

主な緊急検査項目

- 1) 尿検査
腎疾患では蛋白、潜血、沈査、肝疾患ではビリルビン、糖尿病では糖、ケトン体を測定
- 2) 髄液検査
中枢神経疾患において蛋白、糖、クロール、細胞数を測定
- 3) 凝固検査
出血傾向の原因検索としてプロトロンビン時間、フィブリノーゲン、FDP、出血時間を測定
- 4) 血液検査
貧血の有無、炎症性疾患の有無、輸血の決定などで赤血球数、白血球数、ヘモグロビン、ヘマトクリット、血小板数を測定
- 5) 臨床化学検査
急変時にTP、UN、AST、ALT、LD、CK、AMY、TBI、Na、K、Cl、NH₃、血液ガス、中毒や毒性を有する薬物の血中濃度を測定
- 6) 輸血検査
緊急時の供血者と受血者の検査、輸血副作用発生時、新生児黄疸などに必要な検査：血液型、交差適合試験を実施
- 7) 微生物検査
結核を疑う場合は抗酸菌の染色検査、その他にA群 β 溶連菌、黄色ブドウ球菌、淋菌、クラミジア、RSウイルス、インフルエンザ、ロタウイルスを実施
- 8) 生理検査
心筋梗塞、不整脈を疑う場合は心電図、急性腹症などでは超音波検査を実施

Ⅳ 医療職とチーム医療

医療の高度化に伴い、多くの専門医とともに専門医療職が誕生し、これらの医療職が横断的に連携して患者の治療に対応しているのがチーム医療である。

臨床検査技師が関与するチーム医療には院内感染防止対策チーム（ICT）、栄養サポートチーム（NST）、褥そう予防対策チーム、糖尿病教室、医療安全推進室、医療連携室などがある。

ICTには学会認定された感染管理専門検査技師（ICMT）、NSTにも専門認定検査技師、糖尿病教室においても糖尿病療養指導士の資格を有する検査技師が参画している。

- 1) 栄養サポートチーム（NST：nutrition support team）
栄養状態の不良は術後の縫合不全や創傷感染、褥そうの発生、免疫力低下による感染症併発などの合併症

を起こすため、これらの防止のため栄養サポートチーム（NST）が組織されている。

2) 感染防止対策チーム（ICT：infection control team）

感染制御を担当する感染管理医師（ICD）、感染管理看護師（ICN）などからICTが組織され、定期的に病棟巡回を実施して、現場での情報収集、情報提供、職員の教育・啓発、院内感染状況の把握をしている。

3) 日本糖尿病療養指導士（CDEJ：certified diabetes educator of japan）

糖尿病患者の療養指導に従事するコメディカルスタッフに与えられる資格であり、医師が患者に指示する治療方針を正しく適切に伝え、患者の自己管理を援助する。

特に検査技師は血糖自己測定器の使用説明、指導、機器の管理や糖尿病教室での糖尿病検査を中心とした説明や指導を行っている。

4) POCTコーディネーター

POCTは被検者のそばで検査すると位置付けられており、被検者が自ら実施する検査も含まれ、迅速かつ適切な診療・看護、疾病の予防、健康増進に寄与するといわれている。

POCTコーディネーターの業務は①測定現場での作業手順の確立と操作マニュアルの作成、②POCT機器の管理とデータ管理、③使用者への教育である。

V 検査部門の安全衛生管理

臨床検査部門の安全衛生管理は業務を安全かつ円滑に遂行するためには重要な要素である。特に次に掲げる事項に関しては充分な対応が求められる。

1. 感染性廃棄物処理の管理

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」により、医療関係機関などから排出される感染性廃棄物は、特別管理廃棄物として処理する。

廃棄物は産業廃棄物と一般廃棄物に分類され、感染性廃棄物は特に有害なものと指定され、特別管理廃棄物となる。これは、さらに感染性産業廃棄物と感染性一般廃棄物とに分けられる。

感染性廃棄物は医療関係機関などから生じ、人が感染し、もしくは感染する恐れのある病原体が含まれ、もしくは付着している廃棄物またはこれらの恐れのある廃棄物と定義されている。

1) 感染性廃棄物の保管（法12条の2第2項、規則8条の13）

感染性廃棄物の保管は他の廃棄物とは別の保管施設で行う。保管施設は、関係者の見やすい箇所に感染性廃棄物保管施設であることを表示する。

2) 梱包（令6条の5第1項第1号、規則第1条の11）

密閉、収納しやすく損傷しにくい内容物が飛散・流出する恐れのない容器を使用する。

液状または泥状のもの…密閉容器

固形状のもの……………丈夫なプラスチック袋を二重にして使用、または堅牢な容器

鋭利なもの……………耐貫通性のある丈夫な容器

(3) 表示

感染性廃棄物であることを識別できるよう、梱包容器にはバイオハザードのマークを付ける。

液状または泥状のもの……………赤色

固形状のもの（血液が付着したガーゼなど）……………橙色

鋭利なもの……………黄色



{バイオハザードのマーク}

2. 針刺し事故防止対策

医療現場では針刺し事故の多発から安全衛生上の管理体制が強く求められている。針刺し事故は被災者である医療従事者にとっては健康被害に関わる重大な事項である。それに対応するための針事故防止マニュアルや針事故発生時の対応マニュアルの整備は必須である。

特に臨床検査部門は針刺し事故で問題となる血液感染症のHBVによるB型肝炎、HCVによるC型肝炎、HIVによるAIDS、梅毒トレポネーマによる梅毒感染などに関して迅速に検査を実施するなどの役割を果たしている。また医療従事者は定期検査にて自身の感染状況を確認しておくことも重要であることを認識してもらいたい。

3. 劇毒物管理

有害性化学物質について、保健衛生上の見地から取り締まりをしているのが毒劇物取締法である。また皮膚や粘膜への刺激性、中毒症状、代謝、蓄積性や事故例を参考にして、猛毒性の医薬用外毒物および有害性の強い医薬用外劇物に分類される。臨床検査部門には多くの劇毒物が存在している可能性があり、その管理は重要な課題となっている。

1) 毒劇物表示

医薬用外毒物……………赤地に白色文字

医薬用外劇物……………白地に赤色文字

猛毒性……………ドクロマーク

医薬用外毒物

医薬用外劇物

参考資料：東京都福祉保健局健康安全室編「毒物及び劇物を取り扱うみなさんへ（毒物・劇物による事故の未然防止の手引き）」

～里から街へ、街から里へ～

台風一過で澄み渡った秋空の日の夕刻、公益社団法人東京都臨床検査技師会（以下都臨技）の事務所を訪ねるために初めて市ヶ谷に下車をした。

「市ヶ谷」…名の由来には、市ヶ谷孫四郎の領地説、四谷第一の谷なので「一ヶ谷」説、亀岡八幡宮の門前で市が開かれていた「市買」が訛った節、などの諸説ある。また、大名屋敷を経て明治時代より都心部有数の高級住宅街であり、元祖山の手の一つである。

そんなハイソな土地に降り立ったのは、会誌「東京放射線」へ連載を寄稿いただけることとなり、そのご挨拶と第1回原稿校正後の詳細な確認を行うためだ。訪問するのは浅沼編集長と内藤副編集長、そして新米編集委員高橋の3名で、JR市ヶ谷駅の改札口で、都臨技の鈴木会計部長と待ち合わせをした。

鈴木会計部長と浅沼編集長は同じ職場であり、放射線科と検査科の違いはあるが、病院内の先輩後輩として懇親な仲であると浅沼編集長から聞いている。以前、鈴木会計部長と勉強会の懇親会でお話する機会があったのだが、浅沼編集長の若かりし頃を聞くと言葉を濁され笑みを浮かべていたので浅沼編集長の一方的な信頼関係かもしれないが…。まあ、この画期的な企画がスムーズに運んだのも、そのおかげであるので変な勘繰りはやめておこう。

JR市ヶ谷の改札口は一つしかなく、ちょうど帰宅時間と重なった待ち合わせのため、人が四方からなだれ込んでくる。日暮里にはない洗練された雰囲気のある飲食店に目を奪われながら、駅に向かう人々で込み合う歩道を逆走しているうちに、都臨技の事務所が入るビルへ着いた。

事務所へ案内されると朝方フィリピンから帰国したばかりの下田都臨技会長をはじめ 城学術部長、中西学会運営部長が出迎えてくれた。慣れない名刺交換をしていると学術部の会議があるということで、続々と人が集まってきた。多くの人数が集まっているので定例の理事会かと思いきや学術部の会議だそう。学術部には10もの研究班があり、ひと班に約10名の研究班員がいると考えると単純に計算しても学術部のみで100名となる。臨床検査とは、医療全般を凌駕する職業なのだとあらためて思い知らされた。そんな10名強の有識者の前で、訪問者の私たちは一人ずつ自己紹介をするというサプライズを受けた。先駆者である浅沼編集長と内藤副編集長は、悠々たる自己紹介ぶりで東放技編集委員会の誠実さと力量を見せつけた一方、私は大いに上がり内容も支離滅裂で終始噛み倒してしまったが、会誌への熱い思いを伝えることができたと思う。たぶんだが…。そんなこんなで、脂汗をかきながら執筆いただく原稿内容の確認を行い、双方にとって素晴らしい企画にすることを再度申し合わせ事務所を後にした。

「日暮里」…名の由来は、かつて新堀（にいほり）という地名だったが、享保のころから「一日中過ごしても飽きない里」という意味を重ねて「日暮里（日暮らしの里）」の字が当てられた。

洗練された街と一日中過ごしても飽きない里から発信される新連載乞うご期待!!

東放技編集委員 高橋克行

地球環境保全活動 日暮里駅前清掃活動に参加して

戸田病院 齊藤誠治

記録的に早かった梅雨明け間もない7月20日、都内日暮里駅周辺において清掃活動を行った。この清掃活動は、荒川区環境課 荒川区青少年対策日暮里地区委員会の主催で毎月10日、20日、30日に駅前周辺を地域の町会、自治会、ボランティア団体などが行っている。東京都診療放射線技師会では現事務所の移転を機に第5地区が中心となり、土曜、日曜、祝日限定で3年ほど前から参加している。この日は猛暑続きの土曜日となり、予定されていた清掃活動は熱中症を心配する主催者側の配慮により中止との連絡があったが、東放技は単独で行うこととなった。このような事情から準備が間に合わないものもあったが、集まった篠原会長、白木副会長はじめ十数名の会員とその家族は、いつも活動している方の分までと気合十分である。

本郷台地の縁に沿ってJR線が走行している日暮里駅は、東放技事務所のある東側では高層ビルが建ち、その間をモノレールが通うモダンな面がある。一方、台地を上った駅西側には寺院が隣接し、千駄木、根津方面へ趣のある昔ながらの商店街がつながっている。われわれ東放技メンバーはいつものようにゴミ袋を各々手にし、水色ジャンパーを羽織って、太陽が昇り切っていない日暮里の街に散ってゆく。各メンバーは自分の清掃ルートが決まっているようで、ロータリー周辺、

尾久橋通り、駅南口からホテルラングウッド近辺、線路を越えて商店街入口と寺周りなどと、担当を決められたわけでもないのに自主的に動き出している。30分ほどでたばこの吸い殻、空き缶とビン、新聞・雑誌、チラシなどが集まった。当初に比べ少なくなはったが、依然としてゴミはある。

清掃活動を行う技師会のメリット、なんで技師会が掃除をするのかを聞かれることがある。きれいな街は気持ちが良いし、汚いところは気持ち悪いから…。誰が掃除をしても構わないし、誰がゴミを拾っても構わない。技師会が掃除をしてもしなくてもどちらでもいいと思う。ただ、ゴミが落ちているのに気付かない人、物事に無関心で気付いても素通りする人が増えている中で、職場や家庭はもちろんのこと、地域社会など周りの問題に対して敏感になり、自分のこと以外でも問題意識を持ち、解決に苦労を惜しまない人間、診療放射線技師でありたい。

今の技師会では、家族と共に参加できるイベントが少なくなっている。その数少ないイベントの一つの清掃活動では他地区会員の奥様方、子供たちと顔を合わせることができるので、とても楽しみにしている。今回の清掃活動に参加することができ、準備をしてくださった方々に感謝する。



NEWS ひろい読み

アルツハイマー病で光明 発症抑える遺伝子の研究を

ソニーが遺伝子解読サービスに合弁企業設立へ——。このニュースのように、日本でも、にわかに遺伝子診断ビジネスへ参入する企業が増えてきた。だが、ここには大きな落とし穴がある。

疾患を引き起こす遺伝子（疾患遺伝子）の発見が先行し、疾患を抑止する遺伝子（「希望の遺伝子」と呼ぶ）の発見がどうしても後回しになるひずみである。これを理解して事業化を進めないと、リスク情報を流して心配ばかりを売り物にする事業となりかねない。

病気の謎を解明し、治療法や診断法を研究する医学は、病気を引き起こしたり、悪化させたりする原因の究明が優先課題となる。それはゲノム研究でも同じだった。2003年4月にヒトゲノム（全遺伝情報）の解読が完了。疾患遺伝子の狩人の時代の幕が上がった。

まず発がんの原因となる疾患遺伝子が続々と見つかった。最近ではアルツハイマー病や各種精神神経疾患からアレルギーなどの自己免疫疾患や感染症まで、幅広い病気の原因や罹患リスクを増大する疾患遺伝子群が明らかになった。

毎週のように新しい疾患遺伝子の発見が研究機関から発表されている。数千に迫る疾患遺伝子が報告されたと言っても過言ではない。日本でも肥満や心筋梗塞などのリスクを判定する遺伝子診断サービスも始まった。

だが今、こうした遺伝子診断サービスの結果を見て一喜一憂するのはうなずけない。遺伝統計学の理論によれば、私たちの誰もが200以上の致命的な疾患遺伝子を持っているが、大部分の人は健康な人生を全うする。これは疾患を打ち消す希望の遺伝子群が存在する何よりも証拠である。

疾患遺伝子の解析研究はまさにパンドラの箱だ。人生を暗くする疾患遺伝子の発見ばかりが先行する。こうした疾患遺伝子をあらかじめ解明できた後に、やっと疾患遺伝子を持っていても病気を発症しない健康な人が判別できる。こうした人を対象とした研究から、ようやくその疾患を打ち消す希望の遺伝子が解析できる。まるで災厄がまき散らされた後で、パンドラの箱の底から希望が現れたのとそっくりだ。

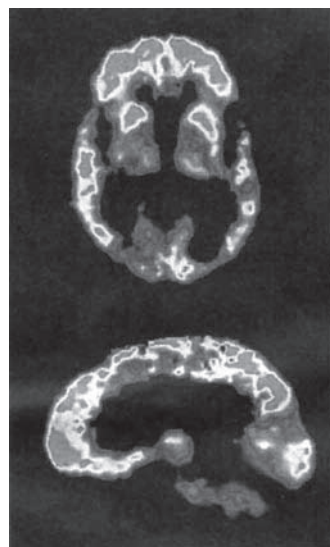
では、希望の遺伝子はすでに発見されたのか。実は昨年、アルツハイマー病の発症を積極的に抑える希望の遺伝子が初めて見つかった。これは今後、始まるであろう希望の遺伝子探索レース開始の号砲となる。

アイスランドのバイオベンチャー、デコード・ジェネティクス社のグループが1795人のアイスランド人のアミロイド前駆体たんぱく質（APP）遺伝子の配列を完全解読し、アルツハイマー病発症のリスクと照らし合わせた結果、APP遺伝子の673番目の塩基がアデニンからチミンに変異した遺伝子「A673T」を持つ人はアルツハイマー病の発症リスクが低下し、老化しても認知機能が維持されることを明らかにした。今年、フィンランドなどの別のグループも追試ができたことを発表した。

今までアルツハイマー病の発症リスクを高める疾患遺伝子は100種以上見つかったが、発症を抑止する遺伝子が発見されたのは初めてだ。先端バイオ研究がやっと希望の遺伝子を視野にとらえたといえるだろう。

疾患遺伝子と希望の遺伝子の両方を解析し、さらにそれぞれの人のライフスタイルを勘案することで、やっと本当の疾患リスクを推定できる。個人のリスクに応じて疾病の予防をする新しい医療が姿を現す日ももうすぐである。

（日経BP社 宮田満）（9.20日経産）



アルツハイマー病患者の脳（米国立老化研究所提供）

裸眼3Dディスプレイ/医療用で世界初

東芝メディカルシステムズ（栃木県大田原市）は5日、医療用で世界初となる裸眼で3次元（3D）画像を見られるディスプレイを発売した。血管の位置などを正確に把握し、精密な手術計画を立てることができる。まずは頭部や腹部を診断する自社の最上位コンピューター断層撮影装置（CT）専用として発売し、将来は他の種類の画像診断装置にも対応させる。東芝が2010年に発売した立体視メガネをかけなくても3D映像が見られるテレビの技術をもとに、国立がん研究センターと共同で医療用に開発した。従来のCT用ディスプレイに比べて処理装置の能力を約10倍に向上。CTで撮影した3D画像を9つの異なる視点からの画像として同時に映し、脳内の血管の位置など複雑



東芝メディカルシステムズが発売した医療用裸眼3Dディスプレイ（5日、東京・丸の内）

な立体構造を裸眼のまま見えるようにした。画像の回転や部分拡大などの操作を行っても、高画質でなめらかな3D画像を保てる。ディスプレイの大きさは21インチ。脳腫瘍や動脈瘤など難易度の高い手術は事前に綿密な計画を立てる必要がある。血管の奥行きなどの位置関係を的確に把握し、手術の精度向上が期待できるという。メガネが不要で多人数が同時に見られる点を生かし、患者への手術法の説明や若手医師の教育での活用も想定する。東芝メディカルシステムズの最上位CT「アクイリオン ワン ビジョンエディション」のオプションとして発売する。将来は対応するCTの機種を広げ、磁気共鳴画像装置（MRI）など他の種類の画像診断装置にも対応させたいとしている。（9.6日経産）

長寿遺伝子の働き解明

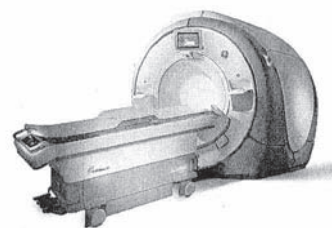
国立遺伝学研究所の小林武彦教授らは、長寿遺伝子とされる「サーチュイン遺伝子」の働きを解明した。酵母の遺伝子进行操作することで、寿命を延ばしたり短くしたりすることにも成功した。同様の遺伝子は人間にもあり、老化の仕組みの解明や寿命を延ばす医薬品などの開発につながる可能性がある。米科学誌カレント・バイオロジー(電子版)に発表した。生物の細胞にあるDNAは、体内に入った化学物質や外からの紫外線によって傷つくと、修復しようとする。しかし、修復を頻繁に繰り返すと細胞に負担がかかり、老化が進みやすくなると考えられている。小林教授らは、細胞内でたんぱく質を作るリボソームの遺伝子に着目した。この遺伝子は修復が起こりやすいが、サーチュイン遺伝子が働きかけて過剰な修復を抑えることを酵母の実験で突き止めた。遺伝子进行操作してサーチュイン遺伝子が常に働く安定な状態にすると、酵母の寿命は通常の約1.5倍に延びた。一方、サーチュイン遺伝子が働かない不安定な状態のままだと、半分程度に縮まった。今後、詳しい仕組みの解明に取り組む。サーチュイン遺伝子は人間など哺乳類にもある。その働きを強められるようになれば、人間でも老化を予防できる可能性があるという。（9.3日経）

肝がん、超音波で進行把握、治療効果を判断

東芝メディカルシステムズと兵庫医科大学の飯島尋子教授らは、肝臓がんの進行を超音波で正確にとらえる技術を開発した。抗がん剤が効いているかどうか分かり、効き目が薄ければ別の種類に切り替える判断ができる。同社は早期に専門機関の認証を得て、販売する超音波診断装置の上位機種に組み込む。超音波診断装置は被ばくの心配がなく負担をかけずに体内の様子を動画で描く。市販の装置に臓器の形や動きを認識する機能を組み込んだ。血管を目立たせる造影剤を肝臓に続く動脈に入れて観察する。抗がん剤はがん血管を壊してがん細胞を殺すため、効いていけばゆっくり明るくなる。明るくなる速さを自動で測定し、効いているかを判断する。従来は呼吸や体のわずかな動きで画像がぶれてしまい、がんの進行具合を正確に見積もるのは難しかった。新技術は臓器の動きとその一部にあるがん組織を周波数が違う超音波で調べ、臓器を正確に追い続ける。抗がん剤は個人の体質によって効き目が違って来る。効き目があるかどうかを早い段階で判断できれば、無駄な投薬を減らせるほか、強い副作用の問題も抑えられる。コンピューター断層撮影装置（CT）などを使えば、がんが縮小したか確かめられる。しかし、有害な造影剤や被ばくの影響が心配されるため頻繁に検査を受けられなかった。（9.3日経産）

がん転移の骨に照射/超音波で痛みを緩和

イスラエルの医療機器メーカー、インサイテックは2014年度をめどに、骨に転移したがんによる痛みを緩和する機器を日本で発売する。超音波を一点に集中させることで、骨膜の神経を焼いて痛みを抑える。放射線の照射や薬剤の投与など他の方法に比べて副作用が少ないのが特徴。患者のQOL（生活の質）向上につながることを訴求する。同社の集束超音波治療（FUS）装置は、磁気共鳴画像装置（MRI）と組み合わせて使用する。MRIで病変部の位置を確認しながら、超音波ビームを照射する。病変部の温度をセ氏70度程度まで上げ、骨膜の神経を焼いて痛みを感じにくくする。超音波は放射線や薬剤を使う他の痛み緩和策に比べ副作用が少ない。何度でも照射できるメリットもある。骨に転移したがんは神経を圧迫したり、刺激物を放出したりすることで痛みを引き起こすと考えられている。年内に厚生労働省に承認申請し、来年度の発売を目指す。（写真：MRIと組み合わせて使い、超音波ビームを患部に照射する）（9.5日経産）



次世代PET 頭の揺れを自動補正/脳の認知機能診断

浜松医科大学と浜松ホトニクスなどは5日、脳の認知機能の変化を捉えることのできる次世代の陽電子放射断層撮影装置（PET）システムを開発したと発表した。頭部を固定せず、頭の揺れを自動で補正する仕組み。長時間同じ体勢をとり続けるのが難しい重度の認知症や精神疾患の患者でも負担を感じずに検査を受けられるという。新システムは脳の神経活動と認知機能に関係する「ニコチン受容体」の変化を調べる薬剤をセットで使う。現在のPETは、横になった患者の頭部を長時間固定した状態で検査している。新技術は、頭の揺れをセンサーと高速カメラでとらえ、ぶれてしまった画像データを自動補正する。頭を固定しなくて済むので、座った状態や立った状態でも検査ができる。実際にアルツハイマー病患者の脳画像を撮影したところ、従来とはほぼ変わらない精度で脳の状態を診断できた。同大の尾内康臣教授は「重度の脳疾患患者の病態のメカニズムを解明でき、新たな治療薬開発につながる」と話している。（9.6日経産）

次世代PETはアルツハイマー病患者にも使える



悪いがんだけ判別/抗体開発、造影に応用

国立がん研究センター東病院の松村保広分野長らは、転移や再発しやすい「たちの悪いがん」だけに集まる抗体を開発した。この抗体を造影剤にくっつけて検査に使えば、早期に治療が必要ながんかどうかを従来よりも精度よく判別できる。不要な検査などをしなくて済むようになり、患者の負担軽減や医療費の削減につながる。がんが血管を破ると、血液に溶けている「フィブリノゲン」というたんぱく質が固まって止血する。抗体は固まったたんぱく質にある微小な穴にくっつくので、がん組織だけに集まる。皮膚に発がん物質を塗ってがんを発症させたマウスで実験した。造影用の放射性物質をつけた抗体を注射して観察し、悪性のがん組織だけに集まることを確認した。今後、企業と共同研究を進めて、早期の治験開始を目指す。並行して同じ抗体に抗がん剤をつけてがん組織だけに運ぶ研究も進める。（9.10日経産）

GE 新型MRI騒音なし

GEヘルスケア・ジャパン（東京都日野市）は10日、磁気共鳴画像装置（MRI）で、検査時の騒音を発生させずに稼働できる技術「サイレントスキャン」を開発したと発表した。同技術を搭載したMRI 2機種を18日に発売する。従来のMRIは検査時に大きな騒音がしていた。とくに高齢者や小児の検査時の負担を軽減でき、より優しい医療につながるという。（中略）MRIの検査中は工事現場のような音が生じ、地下鉄やガード下の音量に相当する100dB以上に達することもあるのが課題だった。GEはハードウェアを改良し、新たなソフトウェアも採用した。電流の流し方を変えるなどしてデータの取り方を従来とは全く異なったものにし、騒音の一部をカットした。MRIの待機時の音量は人が話す程度の約60dBとされるが、検査時でも音量の上昇を3dB以下にとどめたという。この技術は現在頭部の検査に限られているが、今後は対象部位や搭載機種も広げたいとしている。（9.11日経産）

放射線同友会 第53回講演会開催のご案内

秋涼の候、皆さまにはお元気でご活躍の趣、心よりお喜び申し上げます。

さて、私ども放射線同友会は、昭和62年12月に発足し年2回の講演会を催し、今回で第53回を迎えることとなりました。今回は「東京駅の歴史と現状」と題しまして、東日本旅客鉄道株式会社取締役の梅原康義 東京駅長からお話をいただきます。

万障お繰り合わせの上、ご出席賜りますようお願い申し上げます。

記

日 時：平成25年11月13日(水) 18時30分～（受付18時00分～）

会 場：JR東京総合病院 講堂

東京都渋谷区代々木2-1-3

テーマ：「東京駅の歴史と現状」

講 師：梅原康義 先生 東京駅長（JR東日本取締役）

参加費：無料（懇親会参加者は4,000円）

【申込みならびに問合せ先】

当番世話人 後藤太作 Mail：dai-gotou@jreast.co.jp

JR東京総合病院 放射線治療室 TEL：03-3320-2232

以上

【梅原康義 東京駅長 プロフィール】

昭和27年7月	東京生まれ
昭和50年4月	日本国有鉄道入社 三鷹電車区車両掛、三鷹電車区電車運転士を経験する
昭和55年2月	東京西鉄道管理局運転部電車課
昭和57年6月	東京西鉄道管理局総務部人事課
昭和62年4月	東日本旅客鉄道株式会社入社、人事部人事課
平成5年3月	秋田支社人事課長
平成8年2月	人事部勤労課課長代理
平成12年6月	八王子支社総務部長
平成14年6月	人事部次長（勤労）
平成20年6月	千葉支社長
平成22年6月	東京駅長（現在に至る）

＜放射線同友会＞

顧問 小林 満

会長 鹿野 和知

世話人 加藤 京一、工藤 年男、後藤 太作、眞田 鮎子、白木 尚、竹内 修一
塚本 篤子、藤井 雅代、三浦 康平、柳原 淑幸、山本 裕右

事務局 木暮 陽介、高橋 潤一郎、澤田 恒久

平成25年度 第1回

＜東京都生活習慣病検診従事者講習会＞

胃がん検診X線撮影従事者講習会のお知らせ

《対象：都内の施設で、胃がん検診に従事している放射線技師 一初級編一》

- 1 実施日：平成25年11月21日（木）
- 2 場所：東京都がん検診センター 2階研修室・地下1階（次頁会場案内図参照）
- 3 受講定員：先着48名程度（全プログラムに参加できる方）
- 4 受講料：無 料
- 5 申込方法：裏面申込書にご記入の上、FAXまたは電子メールにてお申し込みください。
 申込締切：平成25年11月14日（木）－必着－ ※定員を満了した時点で締め切ります。
 ※お申し込みいただいた方全員に受講の可否をご連絡いたしますので、FAXか電子メールの
 どちらかをご記入ください。
- 6 申し込み・問い合わせ先：
 公益財団法人東京都保健医療公社 東京都がん検診センター 研修担当：尾林
 TEL：042-327-0201（代） FAX：042-327-0297
 E-mail：togan@tokyo-cdc.jp 〒183-0042 東京都府中市武蔵台2-9-2

7 プログラム

	テーマ及び講師
9:00～10:30	胃X線読影の基礎 一画像に対する言葉の使い方を学ぼうー 東京都がん検診センター 消化器内科 部長 入口 陽介
10:30～10:40	休 憩
10:40～12:30	胃X線撮影技術 一基準撮影から追加撮影、接遇まで学ぼうー 東京都がん検診センター 放射線科 萩原 弘之・鈴木 敦子
12:30～13:30	休 憩
13:30～14:30	バリウムX線造影剤の特性 株式会社 伏見製薬所 昭和町工場 製造技術室 課長 福岡 幹己
14:30～15:50	検診症例読影実習 一症例から撮影のポイントを探るー 前半 東京都がん検診センター 放射線科 金子 英利・高嶋 優子・伊藤 聖美・北野 哲也
15:50～16:00	休 憩
16:00～17:20	検診症例読影実習 一症例から撮影のポイントを探るー 後半 東京都がん検診センター 放射線科 金子 英利・高嶋 優子・伊藤 聖美・北野 哲也
17:20～17:30	アンケート記入（記入後 解散）

《昼食について》 周囲にお店が少ないため、できるだけお弁当をご持参ください。

FAX 042-327-0297 尾林 行

<東京都生活習慣病検診従事者講習会>

平成25年度第1回胃がん検診X線撮影従事者講習会申込書

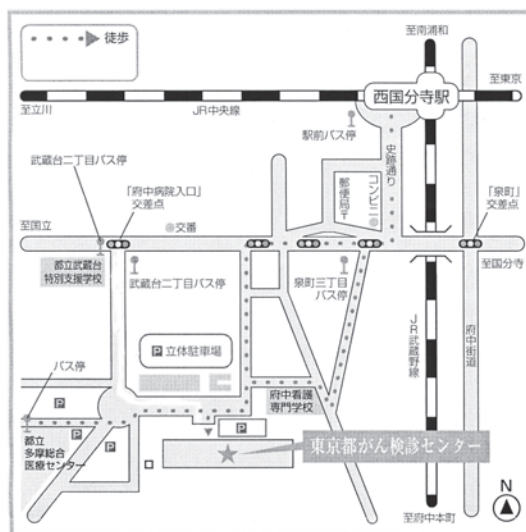
平成25年11月21日(木) 9:00~17:30

「東京都がん検診センター2階 研修室」で実施する講習会を申し込みます。

ふりがな			
氏名			
勤務先	名称		
	所在地	〒 -	
	TEL		FAX
	E-mail		
胃X線撮影 経験年数		・経験なし ・集団検診()年 ・ドック検診()年 ・ルーチン撮影()年	
検査内容		・バリウム濃度及び量(w/v%、 cc) ・発泡剤量及び飲用方法(g) (水 バリウム その他())	
過去にもこの講習会(胃がん検診X線撮影従事者講習会)を受講したことがありますか。 いいえ、 はい(回、前回は 年の 月)			
今回の講習会への質問がありましたらお書きください。			

<研修会場>

- JR中央線・武蔵野線「西国分寺駅」
徒歩15分
西国分寺駅南口「総合医療センター」行バス 終点下車
- JR中央線「国分寺駅」
国分寺駅南口「総合医療センター」行バス 終点下車
- JR中央線「国立駅」
国立駅南口「総合医療センター」行バス 終点下車
- 京王線「府中駅」
「国立駅」行バス 総合医療センター下車



*お知らせは、当センターホームページからもダウンロードいただけます。 URL <http://www.tokyo-cdc.jp/>

..... 平成25年度 東京都がん検診センター

胃X線検査従事者講演会のお知らせ

-
- 1 実施日：平成25年11月29日（金）16時00分から18時00分まで
 - 2 会場：東京都がん検診センター 3階講堂（下図参照）
 - 3 対象：胃X線検査に従事している放射線技師など
 - 4 受講定員：先着80名程度
 - 5 受講料：3,000円（当日お持ちください）
 - 6 申込方法：次頁の申込書または、HPより申込書をダウンロードの上、FAX・メールにてお申し込みください。
受講できない場合のみFAXまたはメールでご連絡いたします。
 - 7 申込締切：定員に達し次第（当センターホームページをご確認ください）
 - 8 テーマ及び講師

テーマ：胃がんX線読影の取り組み方

**講師：医療法人社団進興会オーバルコート健診クリニック
院長 馬場 保昌 先生**

【講演概要】 胃がんX線読影の取り組みには、1) 記憶画像にもとづいた診断、2) X線、肉眼、組織の相互比較に基づいた診断、3) 癌組織型を基本とした系統的な診断、4) 胃癌の体系から眺めた診断がある。それぞれについて、画像を提示しながら解説する。

《お申し込み・お問合せ先》

公益財団法人東京都保健医療公社 東京都がん検診センター 研修担当：清水
〒183-0042 東京都府中市武蔵台2-9-2
TEL：042-327-0201 FAX：042-327-0297
E-mail：togan@tokyo-cdc.jp URL：http://www.tokyo-cdc.jp/

○JR中央線・武蔵野線「西国分寺駅」

徒歩15分

西国分寺駅南口「総合医療センター」行バス 終点下車

○JR中央線「国分寺駅」

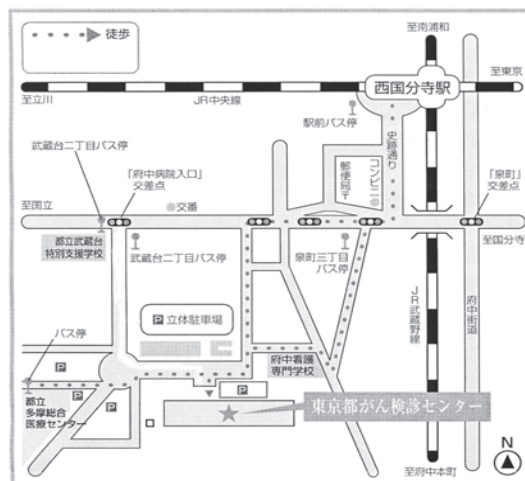
国分寺駅南口「総合医療センター」行バス 終点下車

○JR中央線「国立駅」

国立駅南口「府中駅」行バス 総合医療センター下車

○京王線「府中駅」

「国立駅」行バス 総合医療センター下車



日時：平成25年11月29日（金） 16時00分～18時00分

ふりがな 氏 名	
勤務先名称	
勤務先住所	〒 ー
電 話 番 号	
FAX又はE-mail (受講可否の連絡先)	
職 種	診療放射線技師 ・ 医師 ・ その他（ ）
従 事 年 数	

第9回 胃X線画像読影勉強会のご案内

(平成25年度第4回)

記

日 時：平成25年11月22日(金) 18時30分～20時30分(18時00分受付開始)
場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505
ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分
主 催：一般社団法人日本消化器がん検診学会関東甲信越支部
後 援：公益社団法人東京都診療放射線技師会
参 加 費：会 員 1,500円(日本消化器がん検診学会または診療放射線技師会の会員)
：非会員 2,500円
定 員：70名位(定員になり次第お申し込みをお断りする場合があります)
お申込み方法：日本消化器がん検診学会関東甲信越支部
放射線部会ホームページ<http://www.jsjgcs-kanto-x.org>よりお申し込みください。
お申込み期間：11月5日(火)～11月18日(月)まで

以上

～プログラム～

教育講演

「胃がんX線検診の読影基準について」

慶應義塾大学病院予防医療センター

吉田 諭史 先生

『超音波スクリーニング研修講演会2013有明』のご案内

謹啓 超音波スクリーニングに直接携わる技師の教育・育成を目的に、日本消化器がん検診学会と日本総合健診医学会の共催により、平成13年に発足し毎年継続して開催している研修講演会です。この研修講演会は、超音波スクリーニングの精度向上に必要な基礎および臨床的知識を広く網羅したもので、対象臓器は肝臓・胆道・膵臓・消化管、腎臓などの腹部臓器を中心に、乳腺・甲状腺を含めた分野で企画しています。講師陣は、現在、超音波医学の第一線で活躍されているトップレベルの指導医を招聘しております。皆さまの参加をお待ちしております。

謹白

■日 時：平成25年12月14日(土) 午前9時25分～午後5時00分

*開場・受付開始：8時30分から

■会 場：TOC有明コンベンションホール WEST GOLD 20

東京都江東区有明3-5-7

*埼京線・りんかい線『国際展示場』駅より徒歩3分

*ゆりかもめ『国際展示場正門』駅より徒歩4分

*TOC有明アクセス www.toc-ariake.jp/access.html

■参加費：5,000円 事前登録不要

■主 催：特定非営利活動法人 超音波スクリーニングネットワーク

理事長：桑島 章

■共 催：日本消化器がん検診学会／日本総合健診医学会

■後 援：日本超音波検査学会

日本臨床衛生検査技師会／東京都臨床検査技師会／神奈川県臨床衛生検査技師会

日本診療放射線技師会／東京都診療放射線技師会／神奈川県放射線技師会

■協 力：超音波検査法フォーラム／東京超音波研究会

■プログラム：『USスクリーニング…症例に学ぶ…』

09：30～10：20	『胆道』	講師：岡庭 信司（飯田市立病院）
10：20～11：10	『膵臓』	講師：森 秀明（杏林大学医学部付属病院）
11：30～12：20	『腎・尿路』	講師：平井都始子（奈良県立医科大学附属病院）
12：45～13：35	ランチョンセミナー	
	『甲状腺』	講師：宮川めぐみ（虎の門病院）
14：00～14：50	『肝臓』	講師：小川 眞広（駿河台日本大学病院）
14：50～15：40	『乳腺』	講師：何森亜由美（高松平和病院）
16：00～16：50	『消化管』	講師：畠 二郎（川崎医科大学附属病院）

■問い合わせ：関東中央病院 臨床検査部（担当：山田清勝）

E-mail kensa.gazou@kanto-ctr-hsp.com

*超音波検査士更新5点が付与されます。

*ランチョンセミナーで軽食（800食限定）の用意をしています。

*書籍の展示販売を行います。

*会場内でのビデオ撮影・写真撮影は禁止致します。

News

11月号

前回連絡会議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

理事会定数確認

出席：16名、欠席：4名

会長報告

2ヶ月ぶりの理事会開催になりますが、秋からの技師会活動も8月31日（土）に行われたサマーセミナーを皮切りに9月12日（木）の第13回東放技・東京部会合同学術講演会や第29回日本診療放射線技師学術大会（島根県）とイベントが目白押しですが、ご協力の程よろしく申し上げます。

報告事項

1) 会長

活動報告書に追加なし。

- ・第1地区委員長である眞田鮎子理事より、都合により東放技理事活動が続けられないとの報告を受けた。委員長代行として前地区委員長である齋藤謙一さんをお願いする報告を受けたが、この件に関しては、地区の決定に委任を確認した。

2) 副会長

活動報告書に追加なし。

3) 専門部委員会報告

①広報委員会

- ・8月29日（木）：第5回専門部委員会の追加
- ・8月31日（土）：第12回サマーセミナーの追加
- その他、事業活動報告書に追加等なし。

4) 委員会等報告

活動報告書に追加なし。

5) 地区活動報告

- ①第7地区 5月23日（木）→7月19日（金）地区委員会の開催日訂正。
- ②第10地区 7月29日（月）地区委員会開催。
活動報告書に追加なし。

日 時：平成25年9月5日（木）

午後6時45分～午後8時00分

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所

出席理事：篠原健一、葛西一隆、白木 尚、石田秀樹、
関 真一、野口幸作、大室正巳、浅沼雅康、
市川重司、高坂知靖、江田哲男、安宅里美、
高橋潤一郎、大地直之、千葉利昭、川崎政士

出席監事：佐藤清榮

指名出席委員長：岡部博之

指名出席者：齋藤謙一（第1地区委員長代行）、
長谷川雅一（総務委員）、雨宮広明（総務委員）

欠席理事：森 俊、眞田鮎子、小野口敦、飯島利幸

議 長：篠原健一（会長）

司 会：葛西一隆（副会長）

議事録作成：長谷川雅一（総務委員）

議 事

1) 事業申請について

①第6地区研修会

平成25年11月8日（金）、東京都診療放射線技師会研修センター開催について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認0名】

②荒川河川敷清掃活動

平成25年10月20日（日）河川敷の清掃活動について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認0名】

③第26回日暮里塾ワンコインセミナー

平成25年11月6日（水）、東京都診療放射線技師会研修センター開催について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認0名】

④第4地区研修会

平成25年12月13日（金）、東京都済生会中央病院開催について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認0名】

⑤第11地区研修会

平成25年11月29日（金）、東邦大学医療センター大橋病院開催について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認0名】

⑥超音波スクリーニングネットワーク後援の件

平成25年12月14日（土）、NPO法人超音波スクリーニングネットワーク主催後援依頼。

【承認：16名、保留：0名、否認0名】

⑦第3回静脈注射（針刺しは除く）講習会

平成25年11月10日（日）開催について審議した。開催施設について多摩方面を予定。

【承認：16名、保留：0名、否認0名】

⑧新入会の審議が行われた。

7月期 新入会15名、転入4名、転出1名、退会5名。

8月期 新入会8名、転入1名、転出2名、退会4名。

【承認：16名、保留：0名、否認0名】

※篠原会長：8月の理事会が休会のため理事会承認前に会誌に掲載されてしまうがご理解を頂きたい。

地区質問、意見に関する事項

1) 第2地区

意見：地区会員より、あぜもとしょうご氏の選挙活動にあたり、個人情報を使用されたことに印象を悪くした感があり、日放技については不信感が出た。

2) 第14地区

あぜもとさんのパンフレットが会誌と一緒に挿入されており、名簿を勝手に利用して、政治的な活動の手助けをしてほしくないという方が地区の役員の中にもおられ、活動の趣旨を話しましたが、あまり理解が得る事ができなかった。

今後また、同じような事があると思うが、会長や副会長が勉強会や研修会などで、選挙活動の意義や趣旨などを積極的に会員に話していただきたい。

篠原会長：個人情報を選挙活動に利用する事は十分に議論し会員の納得と了承を得てからするべきであったが、選挙への準備期間が短かったため、会員の方へ説明が十分に行えなかった部分がある。

また、大前提として公益社団法人は、特定の政党を応援する選挙活動はできない。

しかしながら、診療放射線技師法の改正にむけて診療放射線技師の仲間を国会に送り込むことは東京都診療放射線技師会としても重要と考える。今後も診療放射線技師連盟の活動を活発化させることと、会員に丁寧な説明対応を心がけ、目標に向けてがんばっていききたい。

なお日本診療放射線技師会の北村専門職が窓口となり、本件に関して納得されていないなどの苦情相談について対応していくことを確認している。

連絡事項

1) 篠原会長

- ・来年度6月に役員改正が行われる。公益社団法人化に伴い定款が改定された。来年度は各支部から理事を選出したいので、各支部で推薦・立候補をお願いしたい。

2) 総務委員会

- ・10月21日（月）に中間監査が行われる。上半期の事業報告書のフォーマットを各専門部・各地区に配信するので、9月26日（木）第6回専門部委員会までに返信をお願いしたい。
- ・事業等に関する各報告書などのフォルダ名を統一したので協力ををお願いしたい。
- ・日放技より『放射線技師の仕事パンフレット』が1400部送られてくるので、イベント活動などで活用をお願いしたい。

3) 庶務委員会

- ・9月21日（土）の第29回日本診療放射線技師学術大会（島根県）後に東放技の情報交換会を企画していますので、参加希望者は庶務野口までお願いしたい。
- ・9月29日（日）に開催される、第2回静脈注射（針刺しは除く）講習会の定員に若干の空がありますので各施設で関心のある方は、申し込みをお願いします。

4) 学術・教育委員会

- ・9月12日（木）に第13回東放技・東京部会合同学術講演会が開催されます。

- ・合同情報交換会も企画されていますので、奮っての参加をよろしくお願いします。

また事前登録のご協力もよろしくお願いします。

5) 渉外委員会

- ・日放技より勤続30年と50年表彰の推薦依頼について
- ・9月中旬までに候補者宛に案内を郵送予定。
- ・現在、30年対象者32名と50年対象者2名を審査中である。各地区の候補者リストは次回の理事会時に配布予定。

6) 広報委員会

- ・ピンクリボンin東京2013（10/1）（二子玉川ライズギャラリー）
- ・中央区健康福祉まつり2013（10/27）（中央区保健所）
- ・第8回総合健康づくりフェア（11/2）（町田市健康福祉会館）
- ・レントゲン週間（11/3）（横浜クイーンズスクエア）
- ・OTAふれあいフェスタ2013（11/16・17）（平和島競艇場）

※日放技レントゲン週間のお手伝いを各支部から1名の推薦を9月9日（月）までをお願いしたい。

7) 厚生調査委員会

- ・日放技より『疑義紹介調査』の協力施設推薦について
- ・各支部より2施設の推薦を9月10日（火）までをお願いしたい。
- ・現在『事故・故障の調査』が行われているので、施設が重ならないように調整をお願いしたい。

8) 情報委員会

- 『TART』ロゴマーク募集について
- ・TARTの文字を加工したロゴを公募する。
- ・募集案内を10月号会誌、およびホームページに掲載予定である。
- ・募集期間は、10月1日（火）～11月30日（土）を予定している。

9) 編集委員会

- ・会誌9月号13ページの訂正とお詫び。

※訂正箇所：お知らせ1のタイトル「第6回地区研修会」→「第6地区研修会」

10) 第6地区委員長会

- ・第12回城北支部研修会の参加をお願いしたい。

今後の予定

- ・予定表（添付ファイル）の確認をお願いしたい。
- ・ファイルは随時更新していますが、ブッキングや間違えなどがあれば、石田総務委員長までご連絡ください。

以上

平成25年度9月期 会員動向

(平成25年9月)

総会員数		正会員						賛助会員					
年月	月末数	会員数	新入	転入	転出	退会	編入・入	会員数	新入	転入	転出	退会	編入・出
24年度集計	1961	1777	87	20	10	69	-8・+2	184			3	9	8・-2
H25.4	1969	1786	10	3	1	3		183			1		
H25.5	1984	1801	15	1	1			183	1		1		
H25.6	1985	1801	4	1	2	2	-1	184					1
H25.7	1998	1814	15	4	1	5		184					
H25.8	2001	1814	6	1	1	4	-2	187	2		1		2
H25.9	2009	1823	12			3		186			1		

新卒新入＝★

9月度	新入会(12名)	大貫 弘二	順天堂大学医学部附属順天堂医院	5 地区	
		大井 光弘	昭和大学病院	8 地区	★
		山野邊 秀文	高島平中央総合病院	9 地区	
		天野 裕幸	サンシャイン山ロクリニック	9 地区	
		菅谷 怜那	明理会中央総合病院	5 地区	
		泉田 美和	小平記念東京日立病院	5 地区	
		松本 央嗣	東部地域病院	6 地区	
		内山 匠	昭和大学病院	8 地区	★
		磯川 浩治	日本大学医学部附属板橋病院	9 地区	
		岩本 真悟	自衛隊中央病院	11 地区	
		田谷 美咲	昭和大学藤が丘病院	15 地区	★
		吉村 良	公立昭和病院	12 地区	
	転出(1名)	高田 聖子	山梨県健康事業団 → 山梨県へ	地区	賛
	退会(3名)	高岸 清江		7 地区	
		内山 猛	公立昭和病院	12 地区	
		村田 知子		13 地区	

東放技は積極的に参加します

第8回総合健康づくりフェアー

平成25年11月2日(土)

町田市健康福祉会館

レントゲン週間イベント

平成25年11月3日(日)

横浜市クイーンズサークル

OTAふれあいフェスタ2013

平成25年11月16日(土)～17日(日) 平和島競艇場

ピンクリボンウォーク2014

平成26年3月30日(日)

日比谷公園(予定)

学術講演会・研修会等の開催予定

日時、会場等詳細につきましては、会誌にてご案内しますので必ず確認してください。

平成25年度

1. 学術研修会

第16回メディカルマネジメント研修会 平成25年11月14日（木）

☆第12回ウィンターセミナー 平成26年 1 月

2. きめこまかな生涯教育

第51回きめこまかな生涯教育 平成26年 1 月11日（土）

☆3. 日暮里塾ワンコインセミナー

第26回日暮里塾ワンコインセミナー（第15地区研修会合同開催） 平成25年11月 6 日（水）

第27回日暮里塾ワンコインセミナー（第13地区研修会合同開催） 平成25年12月12日（木）

第28回日暮里塾ワンコインセミナー 平成26年 1 月23日（木）

4. 集中講習会

第 6 回MRI集中講習会 平成26年 2 月 2 日（日）

☆5. 支部研修会

城西・多摩支部研修会

6. 地区研修会

第15地区研修会（第26回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催） 平成25年11月 6 日（水）

第 6 地区研修会 平成25年11月 8 日（金）

第11地区研修会 平成25年11月29日（金）

第 3 地区研修会 平成25年12月 3 日（火）

第13地区研修会（第27回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催） 平成25年12月12日（木）

第 4 地区研修会 平成25年12月13日（金）

第12地区研修会 平成26年 1 月18日（土）

7. 地球環境保全活動

富津海岸清掃活動

関連団体

日本消化器画像診断情報研究会第5回セミナー 平成25年11月 2 日（土）

平成25年度第3回静脈注射（針刺しは除く）講習会 平成25年11月10日（日）

第53回放射線同友会 平成25年11月13日（水）

平成25年度第 1 回胃がん検診X線撮影従事者講習会 平成25年11月21日（木）

第 9 回胃X線画像読影勉強会 平成25年11月22日（金）

平成25年度胃X線検査従事者講演会 平成25年11月29日（金）

平成25年度診療放射線技師基礎技術講習「消化管」 平成25年12月 1 日（日）

超音波スクリーニング研修講演会2013有明 平成25年12月14日（土）

☆印は新卒かつ新入会 無料招待企画です。

（新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう）

診療放射線学科専任教員募集

東京電子専門学校

医療・コンピュータ・電子の総合学園、創立67年の伝統と4省認定校

募集対象者：診療放射線技師（臨床実務経験5年以上）、教育経験あればなお可

募集人員：若干名

学校名：東京電子専門学校

住所：〒170-8418 東京都豊島区東池袋3丁目6番1号

待遇：経歴、資格、前給等を考慮して本校規定により優遇
賞与（昨年度実績5.45月）、交通費支給

勤務・休日：週休2日（土日祭休）、休出は代休有

社会保険：社会保険完備（私学共済）

宿舍の有無：なし

応募方法：履歴書（写）、職務経歴書、資格者証のコピー（必要なもののみ）、通勤可能な方、
担当できる教科（可能であればお知らせください）

担当者：脇坂 哲夫 E-mail: wakisaka@tokyo-ec.ac.jp

TEL: 03 (3982) 3131 (大代表) FAX: 03 (3980) 6404

診療放射線技師募集

大高医院

本年10月に診療を開始した都内初の救急科有床診療所です。年内病院化を控え、意欲のある方を募集しております。

募集対象者：診療放射線技師 若干名

雇用形態：常勤または非常勤

勤務先：〒121-0815 東京都足立区島根3-17-8 TEL:03-5856-7319 (代) FAX:03-5856-7309

勤務内容：一般撮影およびCT

就業時間：日勤：9時00分～18時00分／夜勤：17時30分～翌9時30分

休日：4週8休制

給与：月額270,000円以上（各種手当有り、前職考慮）／非常勤は別途規程に準ず

保険：社会保険完備

宿舍の有無：なし（住宅手当有り）

応募方法：下記担当者に電話もしくはE-mailで連絡の上、履歴書を郵送してください。

その他：勤務時間・休日など応相談

是非、当院のホームページ <http://www.otaka-hp.jp/>をご覧ください。

担当者：近藤 千津子 E-mail: info@otaka-hp.jp TEL:03-5856-7319 (代)

公益社団法人 東京都診療放射線技師会 研修会等申込書

研修会名	第 回		
開催日	平成 年 月 日() ~ 月 日()		
会員/非会員 (必須)	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 一般 ※ 日放技会員番号(必須) [] <input type="checkbox"/> 新卒かつ新入会の方はチェック		
所属地区	第 地区 または 東京都以外 [] 県		
ふりがな			
氏 名			
性 別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性		
連絡先	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 施設 ⇒ 施設名 []		
	TEL (必須)		
	FAX		
	メール (PCアドレス)		
備 考			

FAX 03-3806-7724
公益社団法人 東京都診療放射線技師会 事務所

Postscript

「お・も・て・な・し」。オリンピック東京招致の最終プレゼンで滝川クリステルさんが使って話題の言葉になってます。このおもてなしの心は日本人の無意識の中にあって、自然と行われているものではないでしょうか。

日放技の全国大会は都道府県が持ち回りで実施していますが、それぞれの大会で開催県実行委員のおもてなしの心を感じます。実行委員のみなさんは2年以上も前から大会の成功を目指して準備を進めていますが、根底は参加して下さる他都道府県の会員さんに期間中気持ちよく過ごしていただくためにあらゆる準備を進めています。

今年の島根大会も同様で、実行委員のみなさんは毎日夜遅くまで準備をされていました。そして大会後、地元紙に「おもてなしの心に感激 学術大会で松江を訪れた。大会関係者の皆さまの「おもてなし」の心が随所に感じられ、大変居心地の良い3日間を過ごすことができました。」との会員からの投書が掲載されました。実行委員のみなさんの努力のたまものだと感じました。

7年後の東京オリンピックの際に東放技として何か協力できることがあればその際には「おもてなし」の心で協力したいと思います。

〈すえぞう〉

最近野菜作りをしている。初心者に向いているミニトマトともう一種類という感じだ。

今回はバジルを植えてみた。本当はいろいろ手をかけた方が良いのだけれど、基本的に放任なので気づいたときに水をあげるくらいしかしていない。でも気づいたらわさわさと葉が茂り、実もたくさんなっていた。しかもバジルにいたっては、こぼれ種がそこかしこで芽を出していた。

以前バジルの種を芽吹かせようといろいろしてみたがだめだったのに。

ふと、仕事のことを考えた。指導も適当（もちろん良い意味で。）がよいのかも。

（ムース）



■ 広告掲載社

大高医院
コニカミノルタヘルスケア(株)
シーメンス・ジャパン(株)
GEヘルスケア・ジャパン
(株)島津製作所
東京電子専門学校
東芝メディカルシステムズ(株)
(株)日立メディコ
富士フイルムメディカル(株)
(株)森山X線用品

東京放射線 第60巻 第10号

平成 25年10月25日 印刷（毎月1回1日発行）

平成 25年11月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号

〒116-0013 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

会長 篠原 健一

編集代表 浅沼 雅康

振替口座 00190-0-112644

電話 東京 (03) 3806-7724 <http://www.tart.jp/>

事務所 執務時間 月～金 9:30～17:00

案内 ただし土曜・日曜・休日・祭日および12月29日～1月4日までは執務いたしません

電話・FAX 東京 (03) 3806-7724

編集スタッフ

浅沼雅康

内藤哲也

岩井譜憲

森 美加

中谷 麗

柴山豊喜

平田充弘

高橋克行